

平成 30 年版 治山林道必携（積算・施工編）の訂正について（ご案内）

お客様の皆様におかれましては、当協会発行書籍をご利用頂きありがとうございます。
平成 30 年版 治山林道必携（積算・施工編）について、訂正を要する事項が判明いたしましたので、ご案内申し上げます。

平成 30 年版 治山林道必携（積算・施工編）の正誤の対象となるページと訂正内容を表示します。

1 上巻 55 ページ

事項の見出しの 29 年版の正誤表の反映ができておりませんでしたので訂正します。

(誤)

- b 施工地域、**工事場所**を考慮した現場管理費率の補正



(正)

- b 施工地域を考慮した現場管理費率の補正

2 上巻 176 ページ

② 運搬土量によるダンプトラックの機種選定の記述に脱字がありましたので訂正します。

(誤)

土の運搬は、バックホウとダンプトラックによる組合せを標準とするが、トラフィカビリティが確保できない場合は、不整地運搬を適用することができる。



(正)

土の運搬は、バックホウとダンプトラックによる組合せを標準とするが、トラフィカビリティが確保できない場合は、不整地運搬**車**を適用することができる。

3 上巻 306 ページ

3-1-10 単価表

(6) ジェットヒータ運転は日換算に改められておりますので、1時間当たり単価表の記載内容(単位欄の「h」を「日」とするもの)を訂正します。

(誤)

(6) ジェットヒータ運転 1 時間当たり単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
燃料費		ℓ		3-1-6 (2) 2) ウ
ジェットヒータ賃料	126MJ (30,100kcl)	h	1	時間当たり賃料 →賃料×1/「3-1-6-(2)2 ウ」
計				



(正) ジェットヒータ運転 1 日当たり単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
燃料費		ℓ		3-1-6 (2) 2) ウ
ジェットヒータ賃料	126MJ (30,100kcl)	日	1	時間当たり賃料 →賃料×1/「3-1-6-(2)2 ウ」
計				

3 上巻 625 ページ

7-10-4 まく板パネル型枠工

(1) 適用範囲の記載内容に校正時の確認が不足し記述に重複がありましたので重複部分を削除します。

(誤)

① 適用範囲

本歩掛は、工場でまく板をパネル状に制作した型枠材を制作した型枠材を現地で組み立てる型枠工で、治山ダム等のコンクリート構造物を施工する場合に適用する。(以下略)



(正)

① 適用範囲

本歩掛は、工場でまく板をパネル状に制作した型枠材を現地で組み立てる型枠工で、治山ダム等のコンクリート構造物を施工する場合に適用する。(以下略)

4 上巻 641 ページ

8-1 仮設工

2 仮設工の積算(3)仮設材の損料率の表 2.1 及び表 2.2 の区分欄の使用期間と資材名が入れ替わっていましたので訂正します。

(誤)

表 2.1 土留、仮締切、築島、仮橋等の材料損料率

使用期間 資材名	損料率 (%)			
	木材	鋼材	蛇かご	合成樹脂管・ホース
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)



(正)

表 2.1 土留、仮締切、築島、仮橋等の材料損料率

資材名 使用期間	損料率 (%)			
	木材	鋼材	蛇かご	合成樹脂管・ホース
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)

(誤)

表 2.2 足場材、支保材、防護柵の材料損料率

使用期間 資材名	損料率 (%)			
	木材	金網	シート	ワイヤーロープ
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)



(正)

表 2.2 足場材、支保材、防護柵の材料損料率

使用期間	資材名			
	木材	鋼材	蛇かご	合成樹脂管・ホース
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
(略)	(略)	(略)		
(略)	(略)	(略)		
(略)	(略)	(略)		
(略)	(略)	(略)		

5 上巻 665 ページ

8-8-2 雪寒仮囲い工

4 設置・撤去歩掛(2)W・WP タイプの設置・撤去歩掛の注記欄の一部について、6月5日付けで公表された正誤表により () 書きの数値が削除されたことに伴い、() 書きに関する記述が不要となったため、削除します。

(誤)

(注) 2 諸雑費は、仮囲い仮設材等の費用であり、労務費と機械賃料の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。なお、手摺先行型枠組足場を使用する場合は、() 書きの値を使用するものとする。



(誤)

(注) 2 諸雑費は、仮囲い仮設材等の費用であり、労務費と機械賃料の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

6 上巻 760 ページ

8-11-4 ディーゼルハンマによる打込み

7(3)ディーゼルハンマによる H 型鋼打込み又は引抜き 10 本当たり単価表の数量表記の計算式の括線 (分子と分母を分け隔てる横線) を記載していませんでしたので訂正します。

(誤)

(水上施工の場合)

名称	規格	単位	数量	摘要
高級船員		〃	$10 \times \frac{T_c}{60} \times \frac{1}{T_c} \times 2 \times \overset{1}{\text{作業日数}}$	表 5.2



(正) (水上施工の場合)

名称	規格	単位	数量	摘要
高級船員		〃	$10 \times \frac{T_c}{60} \times \frac{1}{T_c} \times 2 \times \frac{1}{\text{作業日数}}$	表 5.2

7 上巻 949 ページ

4-3 大口径ボーリング

(6)2)コンクリート（生コン）を使用する場合のモルタル補正係数と中詰コンクリート補正係数の記述に不整合がありましたので訂正します。

(誤)

モルタル補正係数 (K4)

K2	+0.1
----	------

中詰コンクリート補正係数 (K5)

K3	+0.02
----	-------



(正)

モルタル補正係数 (K2)

K2	+0.1
----	------

中詰コンクリート補正係数 (K3)

K3	+0.02
----	-------

8 上巻 953 ページ

4-3 大口径ボーリング

(11) 1)大口径ボーリングマシンによる場所打杭 1 本当たり単価表の備考欄の記述内容に誤りがありましたので訂正します。

(誤)

備考 2 鋼管における数量については、「 $T3 \times 2 \times 0.75$ 」とする。



(正)

備考 2 鋼管における数量については、「 $T3 \times \alpha \times 0.75$ 」とする。

10 上巻 1014 ページ

5-1-6 仮植歩掛

本表の事項名が 5-1-8 と異なっていたので、5-1-8 に整合するよう訂正します。

(誤)

(1,000 本当たり)

名称	単位	数量	摘要
普通作業員	スギ、ヒノキ、マツ等	0.33 人	
	肥料木	0.17	



(正)

(1,000 本当たり)

名称	規格	数量	摘要
普通作業員	スギ、ヒノキ、マツ等	0.33 人	
	肥料木	0.17	

11 上巻 1061 ページ

1-4 アスファルト舗装工

(4)3) 日当たり施工量の記述の一部に誤記がありましたので訂正します。

(誤)

人力による日当たり施工量は、次表を**表示**とする。

(正)

人力による日当たり施工量は、次表を**標準**とする。

12 上巻 1083～1084 ページ

2-1-9 区画線工

校正不足により、一の工種内の同一の職種について、(1)と(2)の記述と(3)及び(4)の記述が異なっていたので交通整理員に整合します。

(誤)

(1) 溶融式(手動)による設置歩掛

備考 4 上表には、**交通整理人**は含まない。

(2) ペイント式(自走)における設置歩掛

備考 1 上表には、**交通整理人**は含まない。



(正)

(1) 溶融式(手動)による設置歩掛

備考 4 上表には、**交通整理員**は含まない。

(2) ペイント式(自走)における設置歩掛

備考 1 上表には、**交通整理員**は含まない。

13 上巻 1139 ページ

3-3-2 橋台・橋脚工 (2)

2(1)橋台・橋脚コンクリート打設歩掛表 2.1 コンクリート打設歩掛の (注) に番号ずれがありましたので訂正します。

(誤)

(注) 1 コンクリートポンプ車の機種を選定については、「3-1-1 橋台・橋脚工(1)、表 3.1 機種
の選定」による。



(正)

(注) 1 コンクリートポンプ車の機種を選定については、「3-3-1 橋台・橋脚工(1)、表 3.1 機種
の選定」による。

14 上巻 1174 ページ

3-4 橋梁架設工(17)単価表及び内訳表の内容 (本表と(11)-4)表との間) に不整合がありましたので訂正します。

(誤)

14) ベント基礎 1 工事当たり単価表 (据付・撤去+損耗費)

名称	規格	単位	数量	摘要
橋りょう世話役		人	A/Da×1	(11)-4)
橋りょう特殊工		〃	A/Da×2	〃
ベント基礎損耗費		日		
諸雑費		式	1	
計				



(正)

14) ベント基礎 1 工事当たり単価表 (据付・撤去+損耗費)

名称	規格	単位	数量	摘要
橋りょう世話役		人	A/Da×1	(11)-4)
橋りょう特殊工		〃	A/Da×4	〃
ベント基礎損耗費		日		
諸雑費		式	1	
計				

15 1193 ページ

3-5 PC 桁架設工

5(5)③登り栈橋工の引用番号にずれがありましたので訂正します。

(誤)

③ 登り栈橋工

登り栈橋工は、「3-2 鋼橋仮設工」による。



(正)

③ 登り栈橋工

登り栈橋工は、「3-4 鋼橋仮設工」による。

6 1215 ページ

第4 道路維持修繕

4-1 路面切削工

4-1-1 5(1)の注記に記述した文字（掛ける記号）に重複がありましたので重複した文字を削除します。

(誤)

(注) 4 平均切削深さは、次式による。

$$H = \frac{Av}{W} \times \times 100$$

(以下略)



(正)

(注) 4 平均切削深さは、次式による。

$$H = \frac{Av}{W} \times 100$$

(以下略)

17 1221 ページ

4-1-2 切削オーバーレイ工

5(1) の注記に記述した文字（掛ける記号）に重複がありましたので重複した文字を削除します。

(誤)

(注) 5 平均切削深さは、次式による。

$$H = \frac{Av}{W} \times \times 100$$

(以下略)



(正)

(注) 4 平均切削深さは、次式による。

$$H = \frac{Av}{W} \times 100$$

(以下略)

18 1244 ページ

4-3 道路打換え工

5(1)② 掘削・積込み表 5.2 の組合せ機械欄の記述の一部にタイプミスがあり不要な文字が残っていましたので削除します。

(誤)

表 5.2 掘削積込時間 (h/100m²)

舗装版厚+路盤及び 路床の掘削深 使用機械 組合せ機械	40cm 以下	40cm を超え 80cm 以下	80cm を超え 120cm 以下	記号
バックホウによる直接掘削・ 積込み m	(略)	(略)	(略)	(略)
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)



(正)

表 5.2 掘削積込時間 (h/100m²)

舗装版厚+路盤及び 路床の掘削深 使用機械 組合せ機械	40cm 以下	40cm を超え 80cm 以下	80cm を超え 120cm 以下	記号
バックホウによる直接掘削・ 積込み	(略)	(略)	(略)	(略)
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)

19 1274 ページ

4-7 床版補強工

7 クラック処理の表 7.1 の注記に引用番号にずれがありましたので訂正します。

(誤)

(注) 2 諸雑費は、電力に関する経費、材料（注入パイプ、エア抜パイプ及びシンナー）及び機械器具費（ハンドミキサ及びグラウト注入機）であり、労務費の合計額に表 6.1 の率を乗じた金額を上限として計上する。



(正)

(注) 2 諸雑費は、電力に関する経費、材料（注入パイプ、エア抜パイプ及びシンナー）及び機械器具費（ハンドミキサ及びグラウト注入機）であり、労務費の合計額に表 7.1 の率を乗じた金額を上限として計上する。

20 1306 ページ

4-11-2 橋梁補修工（ひび割れ補修工（低圧注入工））

4 施工歩掛の記述に誤記がありましたので訂正します。

(誤)

4 施工歩掛

(1) 1 橋当たり施工日数 [ひび割れ補修工（低圧注入工法）]

び割れ補修工（低圧注入工法）の 1 橋当たり施工日数 D は次による。

(以下略)



4 施工歩掛

(1) 1 橋当たり施工日数 [ひび割れ補修工（低圧注入工法）]

ひび割れ補修工（低圧注入工法）の 1 橋当たり施工日数 D は次による。

(以下略)